

# おう吐物の処理

ポイントは、必ずおう吐物周囲の外側からスプレーして除菌し、おう吐物には触れない様注意します。おう吐物に触れた手袋は直後に破棄して交換します



おう吐物や、その飛沫が処理者の衣服や肌に付着しない様に処理前に装着します



おう吐物に近づく際も、おう吐物の飛散に注意して広範囲へのスプレーが重要



おう吐物に触れない事と、一旦おう吐物に接触したペーパータオルは触らないこと



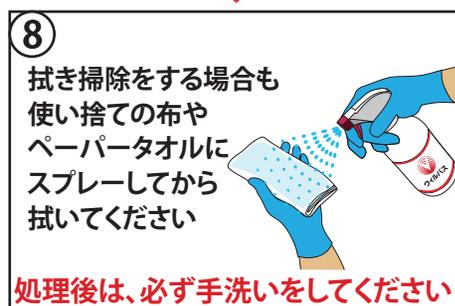
ペーパータオルが十分に湿る程度で、おう吐物が流れ出さないように注意



途中で乾燥しない様に追加スプレーします  
最後に表面にもう一度スプレー



おう吐物が残っている場合は、もう一度ペーパータオルでおおってスプレー



最後に、ウィルバスのスプレー容器もスプレーしたペーパータオルで除菌します

※この使用説明は、次亜塩素酸ナトリウムの殺菌料ウィルバス(有効塩素濃度200ppm)をスプレーで使用する簡易的な方法です。おう吐物そのものを除菌する場合はウィルバス1000または塩素濃度1000ppm次亜塩素酸ナトリウムを使用して処理します。